



## 診療のご案内

### 「がん化学療法に伴うアピアランスケアの取り組み ：頭皮冷却装置の導入のお知らせ」



乳腺甲状腺外科 部長（教授）  
平 成人（たいら なんと）

認定医・専門医・指導医

日本乳癌学会乳腺専門医・指導医

日本外科学会専門医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者



がんの化学療法では、脱毛や肌・爪の変化など、外見（アピアランス）に関わる副作用が少なくありません。こうした変化は、治療そのもののつらさに加え、「人に会いたくない」「仕事に戻るのが不安」といった心の負担につながります。女性を主な対象とする当科では、患者さんが少しでも安心して治療を受けられるよう、医師・看護師が中心となり「アピアランスケア外来」を試行的に実施しており、ウィッグや帽子の相談、肌・爪のケア、メイクの工夫なども丁寧にサポートしています。

さらに当科では、抗がん剤による脱毛を抑えることを目的に頭皮冷却装置を導入し、2026年1月からの実運用に向け、準備を進めています。乳がん患者さんを対象とした同装置のランダム化比較試験では、頭皮冷却装置により化学療法に伴う脱毛率を、3か月時点で従来の100%から59%にまで低下できることが示されており、さらにQOLの向上効果も示されています（The Breast 49 (2020)187-193）。

同装置の導入施設は中四国地域でも数施設と限られており、同装置の導入により、地域がん患者さんのアピアランスケアに大きな役割を果たせるものと期待しています。

外見の変化に向き合うことは、「自分らしさ」を取り戻す大切な一歩です。これからも私たちは、患者さんの笑顔と自信を支える医療を続けてまいります。

画像提供：リーブ21





## 診療のご案内

### 「心臓血管外科のご紹介」



心臓血管外科 部長（教授）

畝 大（うね だい）

認定医・専門医・指導医

日本外科学会外科専門医・認定医  
心臓血管外科専門医・修練指導者  
胸部ステントグラフト実施医



2024年1月より新体制となり、「奇をてらわずに確立された治療で確実に治すこと」という凡事徹底をスローガンに診療しています。もともと血管外科分野は充実しておりましたが、心臓外科分野も循環器内科、麻酔科、救急科、各部署のスタッフの協力もあり心臓手術件数100例以上となり、死亡率も全国平均を大幅に下回るようになりました。比較的新しく確立されている治療としては、心房細動に対する胸腔鏡下左心耳閉鎖術、肋間小開胸（骨を切らないアプローチ）での低侵襲心臓手術を本格的に開始しています。今後も循環器内科とのハートチームカンファレンスにより、カテーテル治療が推奨される患者さんには「カテーテル治療での低侵襲治療」、手術時期として早すぎる状態では「手術せずに経過を診ること」、を的確に判断して無用な手術も避けるように心掛けてまいります。心臓血管疾患でお困りの際にはお気軽にお声がけください。





## 年末年始休診日

**2025年12月28日(日)～2026年1月4日(日)**

※ 2026年1月5日(月)から通常通りの診療となります。

なお、緊急の場合は救急外来で診療を行います。



12/27 (土)	12/28 (日)	12/29 (月)	12/30 (火)	12/31 (水)
通常診療	休診	休診	休診	休診

1/1 (木・祝)	1/2 (金)	1/3 (土)	1/4 (日)	1/5 (月)
休診	休診	休診	休診	通常診療

緊急の際は右記の連絡先、  
またはホットラインまで  
お電話ください。



- ◇緊急で患者を紹介したい  
086-464-1517 (高度救命救急センター直通)
- ◇専門診療科へ緊急で患者を紹介したい  
086-462-1111 (代表)
- ◇産科へ緊急で患者を紹介したい (時間外)  
086-464-1526
- ◇脳卒中ホットライン (24時間対応)  
086-464-1545
- ◇循環器内科ホットライン (24時間対応)  
086-464-1078

川崎医科大学附属病院 地域医療連携室  
〒701-0192 倉敷市松島577

TEL : 086-464-1567  
FAX : 086-464-1166  
MAIL : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp

